

2026年3月20日

関係各位

与路島観光商工協会（会長：榮 勝永）
株式会社 TARGET JAMM（代表取締役：ジュリアン・ジーリ）

プレスリリース

～ 奄美大島 最南端有人離島与路島の学校存続決定！ご支援への御礼 ～
未来志向で与路島観光商工協会運営母体の与路島本店移転と
8つの新事業に着手へのお知らせ

【アドベンチャーツーリズム / 与路染 / 木蠟生産 / 耕作放棄地の有効活用 / 養蜂 / サンゴ石垣保全 / 化粧品開発 / ペットサプリ・フード開発】

第1弾のアドベンチャーツーリズム始動

砲台跡の整備・中央大学ケービング部による「三八岩穴」の発見！

与路島観光商工協会（会長：榮勝永）および構成員の株式会社 TARGET JAMM（代表取締役：ジュリアン・ジーリ）は、このたび以下の3点をご報告申し上げます。

- ①廃校の危機にあった与路小・中学校の存続が決まりましたことへの感謝のご報告
- ②当協会の運営母体・一般社団法人ナショナルパークスジャパンの本店を与路島へ移転し、8つの新産業育成を本格始動
- ③強化事業第一弾として、砲台跡の整備・三八岩穴の発見をもとにしたアドベンチャーツーリズムのガイドツアーを近く開始

■ 与路小・中学校存続に尽力いただいた皆様へ —— 感謝を込めて

与路島観光商工協会および株式会社 TARGET JAMM は、廃校の危機にさらされていた瀬戸内町立与路小中学校の存続が決まりましたことを、島全体の喜びと感謝を込めてご報告申し上げます。4月からは新たな里親の方を迎え、小学生2人・中学生2人の計4人の留学生となる予定です。

私どもは昨年10月、与路地区学校存続委員会（委員長・区長：信島豊武氏）とともに、「海の子留学」里親募集・留学生募集のプレスリリースを発信し、全国へ広く呼びかけてまいりました。

報道関係の皆様、鹿児島県、大島支庁、大島支庁瀬戸内事務所、瀬戸内町教育委員会、各与路会をはじめ与路関係者を含む皆様の温かいご支援とご尽力のおかげで、この大きな結実をもたらしていただきました。留学を決意してくれた子どもたちと保護者の皆様にも大きな決断だったことと思います。改めて心より御礼申し上げます。

「学校の存続にお力添えいただいたすべての方々に、与路島観光商工協会を代表して、心から感謝申し上げます。子どもたちの声が島に響き続けること。それが与路島の未来への最大の礎です。」

—— 与路島観光商工協会 会長 榮 勝永

■ 運営母体の本店を与路島へ移転 8つの新産業育成を本格稼働

この勢いをさらに島全体の活性化へとつなげるべく、与路島観光商工協会の運営母体である一般社団法人ナショナルパークスジャパン（代表理事：山内絢人）は、本店登記場所を与路島（〒894-2601 鹿児島県大島郡瀬戸内町与路 340）へ移転いたしました。これにより、同法人は現在、与路島で本店登記を行う唯一の法人となります。与路島の活性化を目指して農業再興・新産業構築・観光振興を目指します。

ナショナルパークスジャパンはこれまで、北海道・阿寒摩周国立公園をはじめ全国 35 の国立公園で欧米豪インバウンドコンサルや観光コンテンツ開発を手がけてまいりました。そのノウハウを丸ごと与路島に注ぎ込む！そのような決意で今回の本店移転致しました。

あわせてこのたび、観光商工協会の構成員である株式会社 TARGET JAMM とともに株式会社ターゲットヘルスケア（代表：小澤智雄）と戦略的業務提携を締結し、与路島に存在する貴重な自然・文化資源を活かした8つの新産業へ本格的に挑戦してまいります。これらは耕作放棄地・休眠資源の再活用にもつながり、島の経済的自立と担い手確保を促進してまいります。

「学校が残り新しい人々が来て島に新しい産業が生まれる。それが私たちの目指す与路島の姿です。」

—— 与路島観光商工協会 会長 榮 勝永

■ 与路島観光商工協会ではこの度の与路島本店移転を契機に

後述の8つの新事業（アドベンチャーツーリズム / 与路染 / 木蠟生産 / 耕作放棄地の有効活用 / 養蜂 / サンゴ石垣保全 / 化粧品開発 / ペットサプリ・フード開発）に着手を目指しております。

まずは、8事業の第1弾：アドベンチャーツーリズムの本格始動致します！

◆ ガイドツアーの開始を目指して拠点整備

与路島観光商工協会はアドベンチャーツーリズムの推進に本格的に取り組みを目指して与路島の砲台跡の整備を進めておりました。また、この度、与路島来島の中央大学ケービングクラブの部員3名により伝説の洞窟・三八岩穴が発見（再発見）されました。砲台跡と三八岩穴をめぐるアクティビティツアーコースとして、地元島民がガイドを担うガイドツアーを近く開始を目指して、洞窟の与路島の歴史・自然・戦争の記憶を訪れる人々に伝える体験型コンテンツとして展開し、国内外の旅行者が「島の歴史を体で感じる」新しい与路島体験として広く発信してまいります。

◆ 砲台跡の整備

与路島には太平洋戦争期に構築された砲台跡が点在しています。長年、草藪に埋もれていたこれらの史跡を、与路島観光商工協会が主体となって整備いたしました。草木を刈り払い、安全に立ち入れる状態に整えるとともに、与路小中学校の生徒たちが案内看板を手づくりで作成し観光商工協会を設置致しました。地域ぐるみの取り組みとして、留学制度で与路島に留学中の未来を担う子どもたちが歴史的遺産の保全と発信に直接かかわる活動として参加しました。整備された砲台跡地は、歴史解説・平和学習プログラムとアドベンチャーツーリズムを組み合わせた体験コンテンツとして活用してまいります。

<詳細は別紙資料をご参照ください>

◆ 中央大学ケービング部が「三八岩穴」を発見

与路島には、これまで存在が十分に知られていなかった洞窟群が広がっていました。中央大学 Caving Club が調査を実施し、「三八岩穴」を発見（再発見）。長らく島民の記憶の中のみあった洞窟が、若い世代の手によって光を当てられました。今後、中央大学 Caving Club と共同で与路島観光商工協会は再度洞窟群を調査して参ります。今後のアドベンチャーツーリズムへの活用展開も視野に入れ、安全管理と保全を両立した洞窟探検プログラムの構築へ向けて準備を進めています。砲台跡地の整備とあわせ、与路島は今まさに「秘境アドベンチャーの島」として動き出しています。

<詳細は別紙資料をご参照ください>

■与路島観光商工協会の8つの新事業

📍 新規事業① アドベンチャーツーリズム —— 砲台探索・洞窟探検

与路島には太平洋戦争期に構築された砲台跡や島固有の自然洞窟など、他の離島では体験できない固有の史跡・地形資源が存在します。これらをアドベンチャーツーリズムのフィールドとして整備・活用し、欧米豪のアクティブ旅行者や国内の歴史・自然ファンをターゲットとした高付加価値ガイドツアーを開発します。与路島観光商工協会が推進するサステナブル・ツーリズムの枠組みのもと、安全管理と史跡保全を両立した体験プログラムとして提供します。

- 【砲台跡地の整備】与路島観光商工協会による砲台整備の推進および与路小中学校の生徒による案内看板の制作・設置
- 【洞窟発見（三八岩穴）】中央大学 Caving Club が三八岩穴を発見（再発見）し、学術的にも注目される成果。今後は協会とともに三八岩穴を再調査し、アドベンチャーツーリズムへの活用展開に向けて準備を進める
- 【ツアー事業】専門ガイド（地元島民・歴史研究者）と連携した砲台探索・洞窟探検ツアーの開発・運営
- 歴史解説・平和学習プログラムを組み込んだ教育的コンテンツとしての展開
- 欧米豪富裕層向けプレミアムアドベンチャーツアーとしてのパッケージ化
- 夜間ツアー・星空観察・ハミヤ島グランピングとの組み合わせによる多彩なプログラム提供

🌀 新規事業② 与路染（よろぞめ） —— 泥田を活用した伝統染色の事業化

奄美大島の糸織を支える「泥染め」は、テーチ木（車輪梅）で染めた糸を鉄分豊富な泥田に浸し、深い黒・茶系の色を発色させる世界的にも類まれな伝統染色技法です。与路島には奄美大島とは異なる固有の泥田が眠っており、これを発掘・成分分析・活用することで、与路島独自の色彩・表情を持つ新たな染色ブランド「与路染（よろぞめ）」の確立を目指します。

- 与路島固有の泥田の発掘・調査・成分分析（鉄分・ミネラル特性の評価）
- テーチ木（車輪梅）染めと与路島泥田を組み合わせた「与路染」染色技法の確立
- 与路染を用いた繊維製品・工芸品の開発および「与路染」ブランドの商標化
- 体験型ワークショップの整備とインバウンド・国内観光客向けの体験コンテンツ化
- 奄美大島糸の産地・職人との連携による奄美テキスタイル産業全体の底上げへの貢献

🌿 新規事業③ ハゼノキ（樫の木）木蠟生産事業 —— 耕作放棄地を活用した伝統素材の復興

ハゼノキ（学名：Rhus succedanea、別名：リュウキュウハゼ）は江戸時代に琉球王国から薩摩藩へ伝わり、果実から採取する「木蠟（Japan wax）」は和蠟燭・化粧品・工芸品の原料として藩の財政を支えた重要な作物でした。石油系パラフィンの普及により国内生産は激減しましたが、植物由来・サステナブルな素材として近年再評価が進んでいます。与路島の温暖な気候と豊富な耕作放棄地を活かし、「木蠟の島」としての産業復興を目指します。

- 与路島の耕作放棄地を活用したハゼノキの植林・栽培（⑤養蜂の蜜源環境整備と連携）
- 果実からの木蠟（Japan wax）の採取・精製・生産体制の構築
- 和蠟燭・高級化粧品・工芸品（寄木細工・和弓）メーカーとの連携・販路開拓
- 「与路島産 木蠟」としての高付加価値ブランド化および SDGs・サステナブル商材としての展開
- 蠟燭づくり体験ワークショップと観光コンテンツとの連携

新規事業④ 耕作放棄地の有効活用 —— 有機農業・植林による島の資源再生

与路島には担い手減少に伴い増加している耕作放棄地が存在します。これらを有機農業・野菜栽培の圃場、およびハゼノキ・ニホンミツバチ用蜜源植物・薬草の植林地として積極的に再活用します。農業体験・収穫体験を観光コンテンツとして組み込むとともに、移住・就農希望者への農地提供・就農支援の場としても整備し、島の定住人口の増加と農業の担い手確保につなげます。

- 耕作放棄地を活用した有機農業・島野菜の栽培と島産食材の供給体制の整備
- ハゼノキ・テーチ木（車輪梅）・月桃・サガリバナ・薬草等の植林地としての整備（②③⑤⑦⑧事業と連携）
- 「0le 0le」ビジターセンター内有機農園との連携による農業体験コンテンツの提供
- 移住・Uターン希望者への農地提供・就農支援プログラムの整備
- 農業体験ツアー（種まき・収穫・島料理体験）のインバウンド向けコンテンツ化

新規事業⑤ ニホンミツバチ養蜂事業

与路島は日本固有種・ニホンミツバチ（*Apis cerana japonica*）の日本南限生息地として知られています。ニホンミツバチのハチミツは「幻の蜜」とも呼ばれ、市場流通量が極めて少なく、独特の深い風味と希少性から適切なブランド化により非常に高い付加価値を生みます。耕作放棄地やハゼノキ・テーチ木（車輪梅）の植林地を蜜源環境として整備し、重箱式巣箱による伝統的養蜂を島の基幹産業の一つとして確立します。

- 与路島の耕作放棄地・自然林を活用したニホンミツバチの保護・養蜂基地の整備
- 「日本南限のニホンミツバチ蜜」として高付加価値ブランドを確立・商標化
- ビジターセンター「0le 0le」での販売および養蜂体験コンテンツの提供
- eコマースを活用した全国・海外富裕層向けの産直・ギフト販路の開拓
- ニホンミツバチの生態保護・生物多様性保全への貢献（世界自然遺産との連携）
- サガリバナ蜜・月桃蜜など島固有植物の百花蜜を活かした特産蜂蜜ラインナップの開発（⑦と連携）

新規事業⑥ サンゴ石垣保全×石積み体験アクティビティ

与路島では島内の家々の塀の約70%が手積みのサンゴ石垣で構成されており、COOL JAPAN AWARD 2017 受賞の核となった景観資源です。担い手の高齢化・減少により石垣の修復・維持が困難になりつつあるなか、伝統的なサンゴ石垣の積み方を学ぶ体験プログラムを開発し、観光客参加型の石垣保全活動として展開します。参加者が「島の守り手」となる新しいツーリズムの形を実現します。

- サンゴ石垣の伝統技術を持つ島内職人・高齢者との連携による技術継承プログラムの整備
- 観光客参加型「サンゴ石垣積み体験」ワークショップの開発・運営
- 石垣保全ボランティアツーリズムとしての国内外への発信（SDGs・文化遺産保護の文脈）
- 与路島の景観ブランド「珊瑚石垣の島」の強化と観光誘客への活用
- 学校・教育機関・企業のSDGs研修・CSR活動との連携による参加者拡大

新規事業⑦ サガリバナ・月桃を活用した化粧品・ウェルネス製品の開発

与路島では毎年7～8月に咲き誇るサガリバナ（*Barringtonia racemosa*）と、奄美群島に自生

する月桃 (Alpinia zerumbet) が豊富に自生しています。サガリバナは独特の甘く妖艶な香りを持ち、月桃はその葉・花・実には抗菌・防腐・抗酸化の機能成分を含む薬草植物として知られています。ターゲットヘルスケアのヘルスケアプロダクト開発のノウハウと連携し、与路島固有の植物資源を活かした高付加価値な化粧品・アロマ・ウェルネス製品の開発・販売を行います。

- サガリバナ・月桃の成分分析・有効成分抽出技術の研究開発 (大学・研究機関との連携)
- 与路島産サガリバナ・月桃を使用したスキンケア・アロマ・入浴剤等の化粧品ラインの開発
- 「世界自然遺産の島・与路島発」プレミアムウェルネスブランドの確立と商標化
- 国内外高級ホテル・スパ・免税店・越境 e コマースへの販路開拓
- ニホンミツバチの蜂蜜・木蠟の成分を組み合わせたオールインワン島産コスメラインの展開 (⑤③と連携)
- サガリバナ観賞・月桃ハーベスト体験と組み合わせた「ウェルネスツーリズム」の開発

新規事業⑧ 与路島自生の薬草等を活用したペットサプリ・フードの開発

与路島には月桃・サガリバナをはじめ、奄美群島固有の薬草・植物が豊富に自生しています。株式会社ターゲットヘルスケアが展開する動物病院向け運営支援・獣医療 DX・キャット経済圏関連事業の知見と、与路島固有の植物資源を掛け合わせ、ペットの健康維持・予防医療に資するサプリメントおよびペットフードを開発・販売します。

- 与路島自生の薬草・植物 (月桃・サガリバナ等) の成分分析・安全性評価と機能性研究
- 動物病院・獣医師との連携による与路島産植物由来ペットサプリメントの処方開発
- 与路島産天然素材を使用したペットフード (ドッグフード・キャットフード) の商品化
- 「世界自然遺産の島・与路島発」プレミアムペットブランドの確立と商標化
- ターゲットヘルスケアの動物病院ネットワーク・メディアを活用した全国への販路展開
- 与路島産ニホンミツバチ蜜・木蠟成分をペット向けに応用した機能性製品の研究開発 (⑤③と連携)
- ペット同伴可能な島旅・エコツーリズムとの連携 (「ペットと与路島」コンテンツの開発)

■ 8事業の相乗効果 (シナジー)

8つの新産業はそれぞれ独立して成立するだけでなく、互いに深い相乗効果を発揮します。

- ハゼノキ・テーチ木・サガリバナ・月桃・薬草はすべてニホンミツバチの優良蜜源となり、養蜂事業 (⑤) を自然に強化します
- 与路染 (②)・木蠟生産 (③)・養蜂 (⑤)・化粧品 (⑦)・ペットサプリ (⑧) はいずれも耕作放棄地の薬草・植林整備 (④) と連動します
- 砲台探索 (①)・石垣体験 (⑥) はビジターセンター「Ole Ole」を起点とした一日滞在型ツアーとして組み合わせが可能です
- 木蠟 (③)・蜂蜜 (⑤)・サガリバナ・月桃 (⑦)・薬草 (⑧) は「与路島発のプレミアム自然コスメ&ウェルネスブランド」として人・ペット両方に向けた統合展開が可能です
- 8事業全体を「日本南限の自然が育む与路島ブランド」として国内外へ一体的に発信します

■ 各社の役割分担

法人・会社名	主な役割・担当領域
与路島観光商工協会（運営母体：一般社団法人ナショナルパークスジャパン）	国立公園・世界自然遺産ブランドを活用した観光コンテンツ開発と国内外ブランディング、与路島観光商工協会の運営・支援、行政・省庁との連携、8新産業の企画・調整・産業化推進
株式会社 TARGET JAMM	インバウンド・高付加価値観光の企画・運営、宿泊施設の運営、与路島ビジターセンター「Ole Ole」の開設・運営、島産品（蜂蜜・与路染製品・木蠟・化粧品・ペット製品等）のeコマース展開・販路開拓
株式会社 ターゲットヘルスケア	遠隔診療・健康支援の実証、島内外医療ネットワークの整備、化粧品・ウェルネス製品（⑦）の研究開発・商品化支援、ペットサプリメント・ペットフード（⑧）の処方開発・動物病院ネットワーク展開、獣医療 DX 事業

■ 今後の展開

与路島観光商工協会・TARGET JAMM・ターゲットヘルスケアの3者は本提携を基盤として、与路島を「日本の離島活性化モデル」として確立することを目指します。鹿児島県、大島支庁、大島支庁瀬戸内事務所、国土交通省観光庁・環境省・農林水産省等の関係省庁、そして地域住民・漁業者・農業者とともに、持続可能な地域経済の好循環を構築してまいります。与路島での成果をもとに全国の離島・過疎地域への展開可能なモデルの構築も視野に入れ、日本の地方創生に広く貢献することを目指します。

人口 42 名という小さな島だからこそ、一つひとつの取り組みに島全体の思いが詰まっています。与路島観光商工協会および株式会社 TARGET JAMM は、島民の皆様・関係各位と力を合わせ、与路島の未来を切り拓いてまいります。今後とも温かいご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 各法人・各社概要

与路島観光商工協会（運営母体：一般社団法人ナショナルパークスジャパン）

名称	与路島観光商工協会（会長：榮勝永・運営母体：一般社団法人ナショナルパークスジャパン）
会長	榮 勝永
代表理事	山内 絢人
設立年月日	2019 年 5 月
新本店所在地	〒894-2601 鹿児島県大島郡瀬戸内町与路 340（現在、与路島で本店登記を行う唯一の法人）
旧本店所在地	北海道 阿寒摩周湖国立公園事務所
事業内容	国立公園・世界自然遺産を活用したサステナブル・ツーリズムの推進、与路島観光商工協会の運営・支援、国立公園関連の政策提言
URL（運営母体）	http://www.nationalpark.love
URL（協会）	https://yorojima.jp/

株式会社 TARGET JAMM

社名	株式会社 TARGET JAMM
設立年月日	2024年8月6日
資本金	800万円
代表者	代表取締役社長 ジュリアン・ジーリ (Julien Giry)
本店所在地	〒919-1124 福井県三方郡美浜町早瀬19号村中庄92番1
事業内容	インバウンド・アウトバウンドコンサルティング、宿泊施設運営（奄美大島・美浜町早瀬古民家）、与路島ビジターセンター「Ole Ole」の開設・運営、日本酒・工芸品等の輸出
URL	https://target-amami.jp/

株式会社 ターゲットヘルスケア

社名	株式会社 ターゲットヘルスケア（旧称：株式会社 TARGET DX、2026年2月23日改称）
設立年月日	2020年8月11日
資本金	1,413万円
代表者	代表取締役 小澤 智雄
本店所在地	神戸市東灘区御影3-2-11
事業内容	病院向けコンサルティング事業、動物病院向けメディア・運営支援事業、メディカル関連サービス及びプロダクト開発事業、獣医療DX事業、ペットサプリメント・ペットフード開発事業
URL	https://target-dx.jp/

■ 本件に関するお問い合わせ

発信元	与路島観光商工協会（運営母体：一般社団法人ナショナルパークスジャパン）
事務局長	藤田 麻衣子
E-mail	yoro.oleole@gmail.com
URL（運営母体）	http://www.nationalpark.love
URL（協会）	https://yorojima.jp/

以上

【アドベンチャーツーリズム強化事業 第一弾】
 与路島観光商工協会による
太平洋戦争遺跡 砲台跡の整備完了
 与路小・中学校の生徒が案内看板を手づくり・設置

■ 取り組みの概要

与路島観光商工協会は、長年にわたり草藪に埋もれていた太平洋戦争期の砲台跡を主体となって整備しました。草木を刈り払い、安全に立ち入れる状態に整えるとともに、与路小・中学校の生徒たちが案内看板を手づくりして現地に設置しました。

島の未来を担う子どもたちが歴史的遺産の保全と発信に直接かかわる地域ぐるみの活動として大きな注目を集めています。今後は砲台跡を活用したガイドツアーを開始予定です。

◆ 与路小中学校の生徒による案内看板の手づくりと設置



与路小・中学校の生徒が教室で案内看板を手づくり



設置された案内看板と慰霊碑（第二砲台跡）

◆ 砲台跡の整備記録



整備後の眺望



第一砲台・整備後



整備中・案内矢印



砲台構造物（草木を除去し全容が明らかに）



第一砲台跡 コンクリート構造物

◆ 今後の展開

- ・ 砲台跡を活用したアドベンチャーガイドツアーを近く開始予定
- ・ 歴史解説・平和学習プログラムとアドベンチャーツーリズムを組み合わせた体験コンテンツとして展開
- ・ 欧米豪富裕層向けプレミアムアドベンチャーツアーへのパッケージ化
- ・ 「秘境アドベンチャーの島・与路島」として国内外への発信を開始

【アドベンチャーツーリズム強化事業 第一弾】
中央大学ケービングクラブ (Caving Club) による
「三八岩穴」の発見 (再発見) !
 学術的にも注目 与路島に眠る洞窟群が明らかに

■ 発見の概要

与路島には、これまで存在が十分に知られていなかった洞窟群が広がっていました。このたび中央大学ケービングクラブ (Caving Club) が与路島を訪れ、専門的な調査を実施。「三八岩穴」を発見 (再発見) し、学術的にも注目される成果を上げました。長らく島民の記憶の中にのみあった洞窟が、若い世代の手によって光を当てられたことは、島民の間でも大きな話題となっています。

その後、中央大学ケービングクラブは与路島観光商工協会とともに再度洞窟群を調査。今後のアドベンチャーツーリズムへの活用展開も視野に入れ、安全管理と保全を両立した洞窟探検プログラムの構築へ向けて準備を進めています。

【発見者】中央大学ケービングクラブ (Caving Club) 2年：中村君・渡邊君 / 1年：焚口君

◆ 三八岩穴の場所 (与路島 MAP)



与路島 MAP (三八岩穴の位置)



三八岩穴 クローズアップ

◆ 調査の記録 中央大学ケービングクラブ (Caving Club)



三八岩穴の入口 洞窟へ潜入する調査員



洞窟内部を進む調査員

洞窟内の足元 鍾乳洞状の地形が広がる



洞窟内の岩盤 調査員が詳細を記録



洞窟深部を探索する様子

◆ 今後の展開

- ・三八岩穴を活用したアドベンチャー洞窟探検ツアーを近く開始予定
- ・専門ガイド（地元島民・研究者）と連携した洞窟探検プログラムの構築
- ・砲台跡探索との組み合わせによる「秘境アドベンチャー1日コース」として展開
- ・欧米豪富裕層・国内アドベンチャー愛好者向けのプレミアムツアーとしてパッケージ化



与路島観光商工協会

Yorojima Tourism & Commerce Association

与路島観光商工協会 <https://yorojima.jp/>